

箕面ロータリークラブ

2020-21
WEEKLY
BULLETIN



2020-21 年度 国際ロータリー会長 ホルガー・クナーク
国際ロータリー第 2660 地区 2020-21 年度ガバナー 簡 仁一

【2020-21 年度】会長 河野優作 幹事 前田建司 広報・会報委員長 山本貴雄

事務局・例会場:〒562-0006 大阪府箕面市温泉町 1-1 箕面観光ホテル Tel:072-724-2781 fax:072-724-1786
e-mail:mino-orc@abeam.ocn.ne.jp HP:http://mino-orc.net/ 例会日:毎週木曜日 18:30~

次回例会予定

2021年3月25日(木) 第2468回例会
(3月18日を25日に変更し開催)

4月例会予定

2021年4月1日(木) 第2469回例会
15日(木) 第2470回例会

◆会長挨拶◆

河野 優作

新型コロナウイルスの感染者が日本で最初に報告されたのは昨年1月15日に中国・武漢からの帰国者でした。それから1年以上も経ちますが、終息は未だ見えずクラブの活動も縮小しております。しかしコロナ禍にあっても、ロータリークラブは様々な奉仕活動を実施しております。

2660地区では昨年6月に地区内、全クラブ協賛のもと、大阪府及び大阪府内医療機関・福祉施設に医療用マスク、防護服、フェイスシールド、災害対策用テントを寄贈し、各病院や府庁での贈呈の様子がメディアに取り上げられました。このような大規模なものではありませんが当クラブにおきましても先日、箕面市に対しまして健康器具の寄贈を行いました。

コロナ禍によって人々の意識は変わったと思います。何処かで誰かのために何かできることをと思う方が増えたのではないのでしょうか。ピーター・ドラッカーの言葉で「あなたは何によって憶えられたいですか?」というものがあります。ドラッカーは13歳のとき、教師に「何によって憶えられたいか」と聞かれたそうです。生徒は誰も答えられなかったそうですが、教師はこう付け加えました。「今答えられると思って聞いたわけではない。しかし50歳になっても答えられなければ、人生を無駄に過ごしたことになるよ」と。ドラッカーは、この問いを「自己刷新・自己改善を促す

問い」としてその後の人生でずっと意識していたようで、周囲の人たちにもよくこの問いをなげかけていたそうです。

従来どおりの奉仕活動が困難となった今こそ、これまで以上に自己刷新、自己改善を働かせ一つ一つの奉仕活動を見直し、工夫して行っていければと思っております。ワクチン接種が始まったというものの、まだまだ新型コロナウイルスの影響が世の中を覆っております。また朝晩の寒暖の差が激しい日が続いておりますので会員の皆様におかれましては十分に気を付けてお過ごしください。

◆幹事報告◆

前田 建司

【今後の例会予定】

3月25日 例会開催(お食事なし)



4つのテスト 言行はこれに照らしてから

- 1 真実かどうか 2 みんなに公平か 3 好意と友情を深めるか 4 みんなのためになるかどうか

◆50周年記念事業中間報告◆

実行委員長 黄堂泰昌

去る3月8日(月)に、箕面 RC50 周年記念モニュメントの設置工事が行われました。デザイン設計をお願いしました植松琢磨氏と木村貞基記念事業委員長と共に確認立ち合いに参加しました。

場所は予定通り、箕面市立船場公園(5月1日(土)オープン予定)の中央に位置する2階デッキ広場スペースです。北大阪急行電鉄延伸(令和5年3月開通予定)に伴う新設予定の「箕面船場阪大前駅」地上出入口から2階部分へと階段を上ったデッキ広場で、箕面市新文化ホール、大阪大学・箕面市立図書館、大阪大学外国語学部キャンパスなどの各施設を結ぶ動線に位置する、絶好の場所となります。

モニュメントのテーマは「route」、道です。ステンレス製の70cm辺のキューブ(立方体)が5個積みあがった形の全体で3m50cmほどの高さです。大きすぎることなく、小さすぎることなく、しっかりと存在感があり、尚且つ鏡面仕上げの表面には周辺の建物と空が映り、周りの雰囲気と同調するデザインとなっています。モニュメントそのものの設置工事は無事完了しましたが、サインボードの設置や周辺部分の床面の工事も順次進行の予定です。

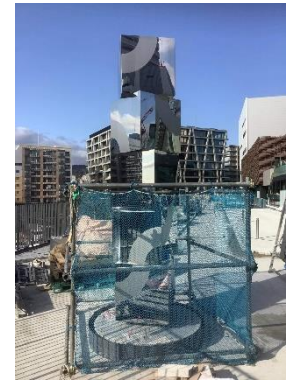
このモニュメントが、再開発される箕面船場の象徴となり、多くの方に愛され、ロータリーの広報としても活躍してくれることを願っています。

残念ながら、現在はブルーシートに覆われていますので見学は5月1日(土)の箕面市立船場公園のオープニングに行われる箕面市への寄贈・除幕式までお預けとなります。楽しみにお待ちしております。

余談ですが、モニュメントのステンレス表面加工をご担当いただいた昭和ブラスト工業(株)の山本良和社長は大阪南RC、設置場所である各施設をつなぐデッキの総合設計をご担当された共同設計(株)の飯田精三社長は大阪中央RCの各ロータリアンということで、奇妙な、いや必然的なご縁を感じます。

最後に、終始に渡り各関係者と折衝をご担当いただいた木村貞基記念事業委員長には、心より感謝申し上げます。

以上



4つのテスト 言行はこれに照らしてから

1 真実かどうか 2 みんなに公平か 3 好意と友情を深めるか 4 みんなのためになるかどうか